

香南市産業振興計画 推進分野別部会からの報告書

● 農業部会	1 ページ
● 林業部会	4 ページ
● 水産業部会	8 ページ
● 商業部会	12 ページ
● 工業部会	16 ページ
● 観光部会	20 ページ
● サイクリング専門委員会	24 ページ
● 住宅部会	27 ページ

部会開催日：R2.12.16(水)

令和2年度 第2回 香南市産業振興計画 農業部会 報告書

◇ 部会委員 ◎ 部会長 ○ 副部会長

	氏名	所属	出欠
1	◎竹内 淳	JA 高知県香美地区園芸部	出
2	○谷間 久昭	香南市認定農業者連絡協議会	欠
3	石丸 典男	JA 高知県香美地区果樹部	出
4	百田 彰和	香南市有害鳥獣被害対策協議会	出
5	鍵山 貢	JA 高知県香美地区香美営農経済センター(販売営農指導課)	欠
6	日和崎 一弘	高知県農業共済組合香美支所	欠
7	大崎 佳徳	高知県中央東農業振興センター農業改良普及課	出
8	山本 茂夫	香南市農業公社	出
9	山本 作	高知計画推進課	欠

	氏名	所属	出欠
1	田内 修二	香南市 副市長	出
2	小松 靖生	農林水産課	出
3	小松 大洋	農林水産課	出
4	寺田 大介	農林水産課	出
5	松岡 修司	農林水産課	出
6	國常 勇太	建設課	出
7	田渕 忍	企画財政課	出
8	小林 辰徳	商工観光課	出

☆ 当日の流れ

1. 開 会

2. 議事進行

- ① 令和2年度 香南市産業振興計画の取り組み状況について
- ② 令和3年度に向けた取り組みについて

3. その他

4. 閉 会

○『令和2年度の取り組み状況』について【PDCA】

【P】（目標値）

- 令和2年度数値目標 : 『新規就農者数 10人 /年』
- 速報値（R2.10月末） : 『新規就農者数 10人 /年』

【D】（実行内容）

数値目標である「新規就農者数」は、毎年10月末から11月にかけて高知県中央東農業振興センターより公表される「前年度の新規就農者数」であり、今年度の数字は確定していない。

新規就業者の獲得に向けた取り組みは以下のとおり。

- R2.3 末に新規就農者向けの実践型ハウスを3棟建設。
- JA及び高知県農業振興センターとの情報共有及び就農相談を実施。
 - ※ 就農相談件数：17件
(4月:1件、5月:5件、6月:6件、7月:4件、10月:1件)
- R2.6 に市広報で周知を実施。
- 就農相談及び関係機関との情報共有

【C】（チェック/確認）

- 就農相談は10月末までに17件あったが、Uターン就農、転居後・離職後1年以内等の条件に当てはまらない方や就農を安易に考えている方が多く、新規就農者の獲得に至っていない。
- コロナにより毎年参加している県内外での就農相談に参加出来なかった。

【A】（アクション/改善）

- JA・中央東振興センターとの情報共有や広報、就農相談会による周知を図る。
- 意欲のある就農希望者には、それぞれのビジョンにあった支援について検討していく。
- 新規就農者にはJA、振興センターと連携をとり、栽培面、経営面のサポートを行っている。

○ 令和2年度の取組についての意見等

【主な意見】

◇ 人・農地プランの運営について

- これまで行われた地区別会合には何人参加したか。
 - 各地区の会合参加者はおよそ15人程度である。
参加人数の多い西野地区では30人の参加であった。
人・農地プランの主旨を把握しておらず、行政への要望の会になることがある。
今後回数を重ねていくことによって、地域での活動に繋げていくようにする。(事務局)
- 今後の人・農地プランの会合はどのようなスケジュールで行っていく予定か。
 - 各地区で2回会合を行っていたがコロナの影響により、年度中に全地区で会合を行うことが厳しい状況になった。
そのため今後は各地区1回で会合を行う計画を立てている。

◇ 実践型研修ハウスについて

- 使用期間満了後の新規就農者の今後の進路について。
 - 今年度研修ハウスの使用期間が満了になる者が1名いるが、その者は、営農地を探している状況である。
また、来年度に使用期間が満了の者もいるが、すでに自身の営農地を見つけ、中古ハウスの修繕も行う計画を立てている。
ハウスに空きが生じることになるが、対象者がいれば順次利用してもらおうようにする。

○ 令和3年度の取組についての意見等

【主な意見・提案】

◇ (事務局からの提案) 香南市新規就農者支援家賃補助金に関して提案

- 香南市内で賃貸借住宅に住む新規就農者に対して、家賃補助の提案を行った。目的としては経営の不安定な新規就農者に対して経済的な負担を軽減するため、また、定住促進ということも踏まえ、上限を設けて1/2の補助をするというものである。補助対象者や助成機関、補助金の額等、まだ案としてだしているだけなので、今後練る必要はある
 - 案としては悪くはないが、市外から移住したときに継続して農業ができるかが懸念される。
また、対象者を明確にするため、補助要綱の内容をより詳しくする必要がある。
 - 農業者だけではなく他の産業者に対しても同様に家賃補助はどうするのかを考えていかなければならない。
 - いただいたご意見を参考に、他部会との協議も進め、補助要綱の内容の明確化や他産業部会に情報共有を行っていく。

部会開催日：R2.12.23(水)

令和2年度 第2回 香南市産業振興計画 林業部会 報告書

◇ 部会委員 ◎ 部会長 ○ 副部会長

	氏名	所属	出欠
1	◎三谷 幸寛	香美森林組合	欠
2	○西岡 洋典	高知県中央東林業事務所 振興課	出
3	清藤 好弘	香美森林組合(理事)	出
4	恒石 健一	林道愛護員	出
5	久保 肇	WOOD LIFE	欠
6	井上 美穂	(公社)高知県森と緑の会	出
7	堀田 幸生	雑木バードカービング作家	出
8	山本 作	高知県産業振興推進部 計画推進課	欠

	氏名	所属	出欠
1	小松 靖生	農林水産課	欠
2	小松 大洋	農林水産課	出
3	児玉 亮太	農林水産課	出
4	三谷 啓介	農林水産課	出
5	小林 辰徳	商工観光課	出
6			
7			
8			

☆ 当日の流れ

1. 開 会

2. 議事進行

- ① 令和2年度 香南市産業振興計画の取り組み状況について
- ② 令和3年度に向けた取り組みについて

3. その他

4. 閉 会

○『令和2年度の取り組み状況』について【PDCA】

【P】（目標値）

- 令和2年度数値目標 : 『間伐面積 25ha /年』
- 速報値（R2.10月末） : 『間伐面積 3.88ha /年』

【D】（実行内容）

- 意向調査において、法務局の登記簿の情報及び税務収納課が所有する納税義務者の情報をもとに調査を発送し、自身が持つ森林をどう管理していくか等、今後の方針について回答を得た。
- 緊急間伐総合支援事業費補助金の保育間伐において、森林環境譲与税を活用した100%補助の事業を新設した。

【C】（チェック/確認）

- 数値目標である間伐面積の10月末の実績は3.88haとなっているが、今年度末は25ha以上が見込まれている。
- 森林経営計画の意向調査については、法務局の登記簿の情報及び香南市税務収納課が所有する納税義務者の情報をもとに所有者と思われる方へ調査票を発送した。
- 意向調査で現在の所有者を特定できなかった森林や所有者から返信をいただけない森林があるため、探索が必要。
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、木材価格の低い状況が今後も続く見込みであるため、保育間伐を重点的に取り組む必要がある。

【A】（アクション /改善）

- 戸籍の情報や、森林組合の過去の事業実績による情報をもとに、森林所有者の探索を継続し、より広い面積で実施できるようにしていく。
- 新設した保育間伐の100%補助の事業を活用し進めていく。
また、令和2年度末から3年度にかけて、市有林（香我美町撫川カナツキ）の間伐を実施する。
- 森林境界明確化対象森林の中で、経営管理が「成り立たない森林」を選定し、令和3年度の事業実施に繋げる。
- 該当する森林が無い場合は、森林境界明確化や地籍調査を実施済み森林の中から、事業が実施できる可能性がある森林を抽出し、意向調査を実施したうえで、該当があれば、事業を実施する。

○ 令和2年度の取組についての意見等

【主な意見】

◇ 森林管理制度間伐委託事業(保育間伐) について

- 間伐面積の目標は25haであるが、10月末の実績は3.88haとなっているが、今後の見通しはどのような状況か。
 - 11月以降の実施予定先は約37haが予定されており、達成が見込まれている。
(事務局)
- 「未実施」となっている事業があるが、この書き方では何もしていないように読み取れる。実際に取り組んだことを記載するべきではないか。
 - 実績はゼロであることは間違いないが、何もしていなかったわけではないのは確かである。
 - 5W1Hを明確にし、皆様に伝わる書類作成に努めていく。(事務局)

◇ 意向調査の実施について

- 意向調査で返答が少ないのは、非協力的な方が多いのか。
 - 単純に非協力的な方もいるが、市外や県外に住んでいること等が原因で返信率が低くなっている。
香南市内等近隣の方であれば直接訪問して、回答を得たこともある。(事務局)

○ 令和3年度の取組についての意見等

【主な意見・提案】

◇ 木育事業について

- 木質化の予算が足りないのであれば、「山の一日先生派遣事業」は上限75万円あり、お世話になっている地元の講師の人件費をその事業から拠出すれば、要望に応えやすくなるのではないかと。
 - 検討する。必要に応じて申請する。
- 木育事業は現在、地元の講師の方が主に1人でインストラクターをしており、毎年実施するのは限界がある。
来年以降は、材料のみ用意し学校の先生にインストラクターをしてもらえるようなワークショップを開催する等、講師の担い手育成にも努めていただくべきではないかと。
 - まずは職員で木育事業を回せるような体制づくりを構築する。
今後、所属長会等で周知を図り、学校独自で「木育」ができるような仕組みづくりを提案する。
- 間伐体験の実施についてご理解をいただいた市民の方が所有する山林で間伐体験を実施するという話が前回の部会であったが、その後の進捗状況はいかがか。

- 対象の山林を視察させていただいた。
交通手段等の検討が必要であるが、候補地として申し分がなかったことから、前向きに取り組んでいく考えはある。
しかし、「間伐体験を実施したい」という要望がなく実施に至っていない。
今後は実施に向けた課題の解決と周知に努め、事業の実施に繋げていきたい。

(事務局)

◇ 間伐事業について

- 香南市は、保育間伐について、100%補助の事業を新設する等、非常に手厚い支援を実施しているが、搬出間伐をするための作業道の整備が進んでいないように思う。
一方、近隣の南国市、香美市では、作業道の整備が進んでいる。
作業道の整備が、搬出間伐の可能性を広げ、木材の売却益で産業の活性化に繋がると思われるが、今後、作業道の整備についても補助金を出すことは考えていないか。
- 100%補助の事業は、コロナ対策として、森林環境譲与税を活用し、期間限定で新設したものである。
作業道の整備に向けた補助金については、既存の緊急間伐総合支援事業費補助金に作業道整備・改良のメニューがあること等から、現時点では考えていない。

(事務局)

部会開催日：R2.12.22(火)

令和2年度 第2回 香南市産業振興計画 水産業部会 報告書

◇ 部会委員 ◎ 部会長 ○ 副部会長

	氏名	所属	出欠
1	◎山下 太造	高知県漁業協同組合 赤岡統括支所長	出
2	○仙頭 美香	高知県漁業協同組合 手結支所長	出
3	本田 和仁	赤岡バッチ組合船主会 会長	出
4	野村 操	吉川町バッチ網船主会 会長	出
5	浜口 信義	手結地区漁業者(シイラ漁)	出
6	中山 勝道	住吉地区漁業者(養殖業)	出
7	北垣 博則	ジャコ加工業者	欠
8	加地 正人	シイラ加工業者	欠
9	岡村 雄吾	高知県水産振興部中央漁業指導所 所長	欠
10	山崎 優姫	高知県計画推進課 地域支援企画員	出
11	公文 雅貴	(一社)高知県漁業就業支援センター マネージャー	出

	氏名	所属	出欠
1	小松 靖生	農林水産課	出
2	小松 大洋	農林水産課	出
3	澤田 卓	農林水産課	出
4	徳久 歩未	農林水産課	出
5	小林 辰徳	商工観光課	出
6	中川 正資	企画財政課	出
7			
8			
9			
10			
11			

☆ 当日の流れ

1. 開会

2. 議事進行

- ① 令和2年度 香南市産業振興計画の取り組み状況について
- ② 令和3年度に向けた取り組みについて

3. その他

4. 閉会

○『令和2年度の取り組み状況』について【PDCA】

【P】（目標値）

- 令和2年度数値目標 : 『沿岸漁業総生産額 285百万円 /年』
- 速報値（R2.10月末） : 『沿岸漁業総生産額 135百万円 /年』

【D】（実行内容）

数値目標である「沿岸漁業総生産額」は、10月末時点で135百万円となっている。

（地産の強化）

- 新型コロナウイルス感染症対策として、生産性の向上、経営の安定化を図るため、「水産業活力支援事業費補助金」を策定し、燃料費等の運営経費に一部の支援を開始した。
※ 10月末現在 内水面養殖業 1件 交付済

（流通販売の強化）

- 新型コロナウイルス感染症対策として、県9月補正「食品加工施設緊急整備事業費補助金」等、新しい生活様式に対応した商品開発・衛生管理に必要な機器整備等の支援策を各加工業者へ周知した。それと同時に、「市産業振興計画推進事業費補助金」についても周知し、販売額の増加により魚価向上に繋げていくという、市産業振興計画水産分野の目標に合致しているということで、現在2件の相談を受けている。

【C】（チェック/確認）

- 沿岸漁業総生産額については、昨年10月末と比較してイワシシラスの生産額が減少しているため全体として減少している結果となっている。
11月以降はイワシシラスの最盛期になってくるので、今後の動向を注視していく。

【A】（アクション /改善）

- 「新しい生活様式」に適合するような商品（通販・持ち帰り可能品等）を開発する事業者に対する支援を検討し、商品化することにより市内水産物の利活用を促進させ、もって地域の水産業の振興及び経営安定を図ることが必要である。

○ 令和2年度の取組についての意見等

【主な意見】

◇ 流通販売の強化

- 新型コロナウイルス感染症の影響による、県内の魚の状況は。
 - 特に養殖魚が動いてない状況で、須崎や宿毛では養殖魚のネット販売を実施しているが、加工していない魚(そのままの状態)は売れず、加工している魚は売れている状況である。消費者には加工済み商品のニーズが高い。(県中央漁業指導所)
 - 県漁業手結支所の販売事業については、飲食業の再開もあり8月以降、大口取引先への販売が開始され、回復の兆しが見受けられる。ただ、今後の状況がわからない中で市場がまわらなくなると厳しい。(県漁協手結支所)

◇ 担い手の確保

- 12月に短期研修を実施し、来年1月より雇用型漁業支援事業を実施する報告を受けたが詳しく聞きたい。
 - 以前、室戸で独立したいという希望があったが、生活の面(住むところ)がネックとなり、自宅周辺(中央部)での就業を検討した結果、中央部の漁業形態では独立して就業するのは難しい状況であるが、その中でバッチ漁に興味を持った。
また、今年度高知県就業支援センターのHPに市内企業が求人情報を掲載したこともあり、うまく雇用型でマッチングできた。(高知県漁業就業支援センター)

○ 令和3年度の取組についての意見等

【主な意見・提案】

◇ 新規漁業就業者への家賃補助事業について（農業部会での提案を受けて）

- 県内では新規漁業就業者に対しての家賃補助制度はない。漁業を取り巻く環境は厳しく、県外から来て生活できるかが問題である。
地元で頼れる人(親等)がいなければかなり難しい状況である。
住むところがかかなり重要となるので、漁業のみでなく農業等も含め実現出来たらと思う。
 - 今後、他分野も含め調整していきたい。
- 他地域では移住したくても、借りる家がない状況もある。香南市での受け皿はあるのか。
 - 現在、市地域支援課が空き家情報を提供している。
また、おためし住宅や市営住宅の活用も考えられる。
関係機関と連携して情報発信していく。

◇ 漁船導入事業について

- 養殖業で使用する小割の枠等も補助対象となるか。
 - 漁船導入事業は船と一体となったものが対象となる。漁具等については新リース事業で対象となる。
ただ制度が複雑なので、漁協を通じて早い段階で相談していただきたい。
(高知県漁業就業支援センター)

部会開催日:R3. 1. 7(木)

令和2年度 第2回 香南市産業振興計画 商業部会 報告書

◇ 部会委員 ◎ 部会長 ○ 副部会長

	氏名	所属	出欠
1	◎ 仙頭 秀雄	香南市商工会	出
2	○ 福井 律	お菓子と雑貨おひさん	出
3	門田 直也	(有)カーライフ マルオカ	出
4	近藤 洋好	旅館かとり	出
5	桂 信太郎	高知工科大学	出
6	釣井 弘二	(株)高知銀行 野市支店	欠
7	ウォルシュ 央子 (塚本委員代理)	高知県商工労働部経営支援課	出
8	山崎 優姫	高知県産業振興部計画支援課	出

	氏名	所属	出欠
1	岡林 栄一	商工観光課	出
2	萩野 大輔	商工観光課	出
3	山下 剛	商工観光課	出
4	小林 辰徳	商工観光課	出
5			
6			
7			
8			

☆ 当日の流れ

1. 開 会

2. 議事進行

- ① 令和2年度商業分野の取り組み状況について
- ② 令和3年度に向けた取り組みについて

3. その他

- ・ 令和2年度のスケジュールについて

4. 閉 会

○『令和2年度の取り組み状況』について【PDCA】

【P】（目標値）

令和2年度数値目標 『 商業者数 813 事業者 』
『 事務系企業誘致数 2 企業 /年 』

数値目標（単位）	基準値 (H30年度末実績値)	R2	R3	R4	R5	R6	最終目標値
① 商業者数(事業者) ※日本標準産業分類(大分類の F~Q・Q・Rに分類される事業者)	813	813	814	815	816	817	817 (R6年度末)
② 事務系企業の誘致(企業)	-	2	2	2	2	2	10(5年間累計)

○ 速報値（R2.10月末）：『 商業者数 - 』
『 事務系企業誘致数 1 社 』

【D】（実行内容）

（目標値について）

- ・商業者数については、今年度の数値が出ていないため、令和2年10月末現在の評価は示していない。
- ・合同会社NGSが道の駅やすE棟で4月1日から創業を開始し、事務系企業誘致数は1社となっている。

（空き店舗対策）

- 商店街等振興計画の策定に向けて高知県と事前協議を実施した。
- 空き店舗等対策事業費補助金の周知(市HPへの掲載)を図った。
- オンライン交流イベント(ITの仕事×ライフスタイル)へ参加し、オンラインで香南市の特徴や補助制度の説明を行った。

（担い手の確保・育成）

- 香南市未来人材育成奨学金返還助成金に関して、補助対象を新卒者のみから満40歳までの中途採用者までに対象を拡充した。
また、市HPへの掲載や企業訪問による事業紹介等を行い、周知に努めた。
- 創業支援等事業計画については、令和3年3月31日で計画期間終了となっているため、期限延長を行う手続きを行っている。
- 創業支援利子補給金事業については、市HPへの掲載や金融機関への周知を行った。

（商業支援）

- 新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けている飲食業等の支援を行うため、既存イベント「香南

カーニバル」を「香南BIGカーニバル」として実施しており、7,000円分(飲食店専用6,000円分+タクシー代行専用1,000円分)を3,000円で購入できるバルチケットを販売した。

市内外から延べ7,000人程度の申込があり、好評をいただいている。

- 中小企業信用保険法に基づく、セーフティネット認定申請の受付・認定を実施している。
- セミナーの開催として、JPQR(日本統一QRコード)説明会やHP作成講習会を実施した。
- 地場産品促進事業については、新型コロナウイルス感染症の影響で、取り寄せが身近になったことで売上が増加し、10月末までで前年対比176%となっている。

(その他)

- 新型コロナウイルス感染症対策として、国持続化給付金の対象とされない範囲で売上減少している事業者に対して、香南市事業者等応援給付金制度を創設し、法人最大40万円、個人最大20万円の支援を実施しており、10月末現在で70件の申請があった。
- 市商工観光課に市商工会と共同で、香南市事業者相談窓口を設置し、国持続化給付金や家賃支援給付金の申請サポートや経営等にかかる相談受付を実施しており、10月末現在で284件の相談があった。

【C】 (チェック/確認)

- 新型コロナウイルス感染症の影響による事業者等への支援事業を優先し、当初予定していた各事業への取り組みができず、本年度での実施を見送った事業がある。
- 空き店舗等対策事業費補助金の問い合わせが1件あったが、補助対象外となる業種だったため、利用につながらなかった。
- 緊急融資保証料は、新型コロナウイルス感染症に係る国の融資制度が創設されたため新規利用は0件となっているが、国融資制度が終了した後の動向等を注視していく必要がある。
- 香南BIGカーニバル事業については、新型コロナウイルス感染症の感染状況等を注視しながら取り組んでいく必要がある。

【A】 (アクション /改善)

- これまでの既存補助制度や新型コロナウイルス感染症対策事業の周知をさらに図るために、商工会会報誌にチラシの折込みや市の広報への掲載、企業訪問による事業説明等を行う。
- 事務系企業誘致については、首都圏等にある企業への訪問ができないため、オンラインで事業説明等を行う等の新しい生活様式での取り組みが必要。

○令和2年度の取り組み状況についての意見等

【主な意見】

- 空き店舗調査等の取り組みが進んでいないのは、新型コロナウイルス感染症の影響で状況がまったく変わったので仕方がないのではないかと。
- 香南BIGカーニバルのタクシーチケットは、新型コロナウイルス感染症の影響で夜間の飲食店等に行けないので余っている方が多いと思う。そういった券が無駄にならないような取り組みができないか。
- 香南BIGカーニバルの効果としては、今年初めて売上が対前年比で増となったという参加店舗があり、本事業があつてよかったという声をいただいている。

○令和3年度の実組についての意見等

【主な意見・提案】

- 香南市中心市街地活性化計画(仮称)については、地域に魅力的なコンテンツ(観光施設等)が多くある。今後は更なるコンテンツ同士の連携を図るための取り組みが必要ではないか。
- 市内にお土産を購入できる場所がないため、観光協会のギフトカタログを活用する等その弱みを補えるような取り組みが必要ではないか。
- 新型コロナウイルス感染症の影響で、首都圏等から地方に移りたいという方が増加すると思われる。そのような方をターゲットとして、SNS等で情報発信していくべき。
また、超ローカルな情報は都会でも手に入りにくいものである。例えば、ケーブルテレビ等の番組をわざわざ関東圏等で放送する等の取り組みを進めてみても面白いのではないかと。
- 香南市役所内部に市全体のIT戦略を統括・検討できるような組織があればいいのではないかと。

○新型コロナウイルス感染症に関する今後の施策(案)について

【主な意見】

- 新型コロナウイルス感染症の影響で売り上げがない中、感染症拡大を防ぐための設備等を導入するのは経営的に厳しいところがあり、導入等を断念したことがある。
また、補助額の下限がないのであれば、利用しやすくなると思う。
- 新たな補助金等の施策は、一律ではなく、事業の規模等によって差をつけていけばいいのではないかと。

部会開催日:R2.12.22(火)

令和2年度 第2回 香南市産業振興計画 工業部会 報告書

◇ 部会委員 ◎ 部会長 ○ 副部会長

	氏名	所属	出欠
1	◎黒原 正仁	YAMAKIN株式会社 高知管理部 課長	出
2	○吉田 元雄	香南市商工会 工業部会長	出
3	川久保 武志	カワクボFACTORY株式会社 代表取締役社長	欠
4	小堀 勝幸	四国職業能力開発大学附属 高知職業能力開発短期大学校 能力開発部長	出
5	岩崎 佳世	公益財団法人高知県産業振興センター 経営支援部経営支援課 課長	出
6	西村 幸祐	香南市商工会 経営指導員	出
7	五島 一成	株式会社精工 高知工場 工場長	出
8	安藤 潮	高知県計画推進課 地域支援企画員	出

	氏名	所属	出欠
1	岡林 栄一	商工観光課	出
2	萩野 大輔	商工観光課	出
3	岡崎 環	商工観光課	出
4	小林 辰徳	商工観光課	出

☆ 当日の流れ

1. 開会

2. 議事進行

- ① 令和2年度 香南市産業振興計画の取り組み状況について
- ② 令和3年度に向けた取り組みについて

3. その他

4. 閉会

○『令和2年度の取り組み状況』について【PDCA】

【P】（目標値）

- 令和2年度数値目標 : 『製造品出荷額 360億円以上』
『新規雇用者数 5人以上』
- 速報値（R2.10月末） : 『製造品出荷額 -』
『新規雇用者数 25人』

【D】（実行内容）

- 目標値（製造品出荷額等）360億円に対し、令和元年の実績値は未だ公表されていないことから、令和2年6月末現在の評価は示していない。
（※令和元年中の製造品出荷額等の数値は令和3年2月頃に工業統計より公表予定）
- 新規雇用者数については、4月1日現在で16人の新規雇用に加え、10月1日現在で9名の新規雇用されている。
- 戦略の柱である「企業誘致の促進」については、川谷刈谷地区工場用地の分譲を10月より開始し、申し込みを1件受理している。
- 「既存企業の育成・支援」については、企業訪問にて新型コロナ関連の施策を含め各種事業周知を行った。

<具体的な取組>

- ・ 工業団地適正地検討資料作成委託業務完了（9/25）
- ・ 川谷刈谷地区工場用地の財産処分議案を9月議会に提出（9/24議決）
- ・ 川谷刈谷地区工場用地 R2.10月～11月 公募開始（1件）
- ・ 商談会開催6回（市内企業参加4回）
- ・ 合同企業説明会の開催（9/18開催、市内企業6社参加、参加者数17人）

【C】（チェック/確認）

- 商談会開催事業については年間12回を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、最大9回に変更。

【A】（アクション /改善）

- 「企業誘致の促進」については、新規工業団地の決定及び川谷刈谷地区工場用地の分譲を年度内に行う。

また、企業誘致支援制度の見直しとして、立地企業の設備投資に伴う負担の軽減、事業支援を図る香南市企業立地促進事業費補助金を R3 年度施行予定で制定する。

- 「既存企業の育成・支援」については、支援を継続して行うとともに、市内経済の活力再生に繋がる新たな支援策の具現化に努める。

また、合同企業説明会を開催し、雇用支援にも取り組んで行く。

<11月以降の主な取組内容>

- ・ 新規工業団地の場所決定
- ・ 川谷刈谷地区工業用地の分譲完了
- ・ 香南市企業立地促進事業費補助金の制定
- ・ 各種支援事業の利用増加に繋がる周知
- ・ 城山高校での合同企業説明会の開催（2/10 実施予定）

○ 取組についての意見等

【主な意見】

- ◇ 製造品出荷額の実績値、状況、判明時期、目標数値の根拠について
 - 毎年2月に速報値が発表される。（発表され次第情報共有）
状況は不明であり、目標数値はルネサス撤退を含めた数値目標としている。
- ◇ 新規工業団地の条件等について
 - 業種は未定。
工業用水が必要な企業になると県と協議が必要になるため、場所決定後、業種も含めて決定する。

○ 令和3年度の取り組みについて

【主な意見】

- ◇ 未来人材育成奨学金返還助成事業の周知方法について
 - 企業に対しリクルート情報への掲載依頼や、大学への周知を検討してはどうか。
 - 採用時には奨学金の利用状況が分からないため、申請者への周知と事業所の採用担当にも周知をすることで利用につながるのではないかと思う。
- ◇ 新規雇用者数の目標数値について
 - 新規雇用者数は目標値を大幅に上回っており、高知ミツヨも操業予定であるが、目標数値はどのようにするか。

- コロナによる特需で前倒しでの雇用もあり目標値を上回っている状況。
高知ミツヨ、丸三産業横の分譲地分は見込んだ数値であり、現状の 63 人を予定。

◇ ものづくりネットワークのウェブサイトの更新について

- 小規模の事業所は WEB 管理が不十分であり、コロナ禍における情報発信手段として活用いただきたい。
- 市内にものづくり会と香我美町立地企業交流会という2つの組織があり、HP ではものづくり会の情報を掲載している。
- 組織統合も検討しており、統合、保守に係る費用負担、更新方法等も含めて検討していく。

令和2年度 第2回 香南市産業振興計画 観光部会 報告書

◇ 部会委員 ◎ 部会長 ○ 副部会長

	氏名	所属	出欠
1	◎森尾 美紀	香南市観光協会	出
2	○塩井 政利	香南市歌舞伎でまちおこし実行委員会	出
3	吉村 和久	高知県立のいち動物公園協会	出
4	長山 哲雄	高知工科大学	出
5	大石 祥子	香南市商工会	出
6	岡林 順子	創造広場「アクトランド」	出
7	安藤 潮	高知県産業振興推進部計画推進課	出
8	永野 裕介	土佐くろしお鉄道株式会社	出
9	坂本 辰也	リゾートホテル海辺の果樹園	欠
10	西川 満	物部川 DMO 協議会	出
11	中村 文昭	サイクリング専門委員会	出

	氏名	所属	出欠
1	岡林 栄一	商工観光課	出
2	萩野 大輔	商工観光課	出
3	伊藤 正和	商工観光課	出
4	田中 菜生	商工観光課	出
5	伊福 正哲	商工観光課	出
6	小林 辰徳	商工観光課	出

☆ 当日の流れ

1. 開 会

2. 議事進行

- ① 令和2年度 香南市産業振興計画の取り組み状況について
- ② 令和3年度に向けた取り組みについて

3. その他

4. 閉 会

○『令和2年度の取り組み状況』について【PDCA】

【P】（目標値）

- 令和2年度数値目標 : 『観光施設入込客数 107.0 万人 / 暦年』
- 速報値（R2.10月末） : 『観光施設入込客数 74.0 万人 / 暦年』

【D】（実行内容）

- 今年度計画をしていたイベント等はほとんどが中止になっているが、コロナ禍でも規模の縮小や感染防止対策により「塩の道トレイルランニングレース」等実施できたものもあった。

<コロナ対策の取り組みは以下のとおり。>

◇ 「香南市で遊ぼう割キャンペーン」

香南市内の観光施設の入場料や利用料の半額を助成（上限 1,000 円）

期間：令和2年10月～令和3年2月まで

◇ 「宿泊事業者支援給付金」、「タクシー・観光バス事業者支援給付金」

宿泊施設や、タクシー・観光バスでの衛生管理対策や魅力向上することにより、観光客が安心して香南市で、周遊・宿泊できることで、誘客促進および観光産業の回復を図る。

【C】（チェック/確認）

- 数値目標 107 万人に対し、実績値が 74.0 万人（達成率 69%）であり、前年度比 85%となった。
（前年度同時期 87.1 万人）
7 月から 10 月は、実績値が 31.0 万人、前年度比 95%となった。（前年度同時期 32.6 万人）
（3 月から 6 月は、前年度比 68%）

【A】（アクション / 改善）

- 「香南市で遊ぼう割キャンペーン事業」の継続、11 月からは「香南市に泊まってもらおうクーポン券配布事業」、「香南市観光テレビで全国 PR 事業」を実施することにより新型コロナウイルス感染症の影響で落ち込んでいる市内における観光需要の回復を図る。
- 令和3年度も新型コロナウイルス感染症による観光産業への影響が予想される。
- 国の GoTo トラベル事業は令和3年6月末まで延長予定だが、落ち込んでいる市内における観光需要を回復させることが最優先。
- 「香南市で遊ぼう割キャンペーン事業」を令和3年度も実施し、市内観光産業の需要の回復を図る。

○ 令和2年度の取組についての意見等

【主な意見】

◇ HPのスマホ対応について

- HPを閲覧するのはパソコンよりもスマホの利用が多いことがわかっている。
香南市や観光協会のHPはスマホの対応が遅れているように見受けられるが、どうお考えか。
 - 観光協会のHPは次年度にリニューアルする予定。いただいた意見を参考に見やすいHPになるように検討していく。

○ 令和3年度の取組についての意見等

【主な意見・提案】

◇ 香南市で遊ぼう割キャンペーン事業に対して

- アクトランドでは、香南市で遊ぼう割キャンペーン事業による11月末の利用者が1,850人となっており、県内の方に多く来ていただいている。
また、ミュージアムの入館者は、遊ぼう割を活用し、リピーターとして来ていただいていることから、来年度も継続を要望したい。
 - 企業によって、遊ぼう割♪を利用しやすいようにプランを考えてくれている。
来年度は各施設共通のハッシュタグを作る等のSNSからの情報発信に力を入れていく。
- 今は、県内のお客様への発信が重要だと思いがいかがか。
 - コロナの影響から、これまでの様々なツーリズムの形態から、今はマイクロツーリズムへとシフトしている。
市内の観光農園では、新型コロナウイルス感染症の影響により、団体客のキャンセルが相次いだり、遊ぼう割のタイミングとコロナ禍における近隣かつ屋外で遊びたいというニーズがマッチしたことで利用者数が増えたと考えられる。

◇ その他観光部会の取り組みに対して

- 3Dでよさこいの踊り子に入ったように体験できるVRをよさこい情報館で開催した。
今後、バーチャルリアリティを検討しても良いのではないのでしょうか。
 - Web配信で香南市をイメージ付けできる種を撒いて、出掛けるリストの中に「香南市」が入るようにしたい。
 - 今年、絵金祭りはWeb配信を検討し、アクトランドさんではスマートフォンを使用した面白い企画を検討している。
- のいち駅からのいち動物公園までバスで行けるようにしてほしい。
 - 香南市営バスは、市民の足になるように整備を進め、今年の10月から新たなダイヤで運行をしている。

香南市営バスの運営について議論する会もあり、香南市観光協会としては、観光の観点も活かしたダイヤについても要望をしてきているところ。

現在は、のいち動物公園の下の県道にバス停が構えられているが、今後も観光協会として、路線の開通を求めていく。

- NPO 法人高知 CyclingProject Maze-Cle も新型コロナウイルス感染症の影響によりサイクリングイベントが開催しにくい状況。

現在は、香南市内のサイクリングモデルコースを動画撮影し、YouTube にアップしている。

個人旅行が多い中、旅行者の情報収集は、SNS やグーグルマップを使って直接検索することが多いと思われることから、それらの方々をターゲットとし、有益な情報が届くように情報発信を考えている。

公共交通において、ごめん・なはり線は、自転車を載せることができ、珍しいと思われる。

のいち駅、安芸駅、ヤ・シィパークのレンタサイクルにも期待している。

- NPO 法人高知 CyclingProject Maze-Cle の動画はすごく上手に編集・配信している。車道の状況や解説、香南市の景色はもちろん、香南市外の景色もアップしている。来ていただく方は、香南市の境界等を気にして観光する人はいないので、香南市・高知県のエリアとして周遊してもらいたい。また、ヤ・シィパークでレンタサイクルは遊ぼう割もあり、使いやすくなる。

- 弁天座 = 観光というイメージがない。

弁天座を使って、何か観光をするイメージを作っていきたい。

今年3月にも、劇団の公演があるので各施設と連携していきたい。

- 弁天座は、先だって放映された香南市のPR番組内でも取り上げられ、非常に印象に残っている。

利用がない日については、施設の見学が可能な場所となっているが、施設の見学だけでは入場料を取れないので、着付け体験や舞台での体験等ができるとう面白いかもかもしれないと思う。

部会開催日：R2.12.22(火)

令和2年度 第2回 香南市産業振興計画 サイクリング専門委員会 報告書

◇ 委員会委員 ◎ 委員長 ○ 副委員長

◇

	氏名	所属	出欠
1	◎中村 文昭	NPO 法人高知 CyclingProject Maze-Cle	出
2	○榮枝 俊一	香南市サイクリングターミナル	出
3	富山 明秀	(株) 技研製作所	欠
4	内村 幸子	創造広場「アクトランド」	出
5	山根 大輔	高知シクロクロス実行委員会	出
6	中畠 益男	(公財)高知県観光コンベンション協会	出
7	大崎 優	高知大学地域連携推進センター 高知県サイクリング協会	出
8	久家 英生	香南市交通安全指導員協議会	出
9	弘瀬 沙也香	香南市 観光協会	出
10	安藤 潮	高知県産業振興推進部 計画推進課	出

	氏名	所属	出欠
1	岡林 栄一	商工観光課	出
2	伊藤 正和	商工観光課	出
3	田中 菜生	商工観光課	出
4	伊福 正哲	商工観光課	出
5	齋藤 光明	商工観光課	出
6	小林 辰徳	商工観光課	出
7			
8			

☆ 当日の流れ

1. 開会

2. 議事進行

- ① 令和2年度 香南市産業振興計画の取り組み状況について
- ② 令和3年度に向けた取り組みについて

3. その他

4. 閉会

○『令和2年度の取り組み状況』について【PDCA】

【P】（目標値）

- 令和2年度数値目標 : 『 サイクルイベント大会参加者数 500人 /年 』
『 サイクルサポーター数 10団体 /年 』
- 速報値（R2.10月末） : 『 サイクルイベント大会参加者数 50人 /年 』
『 サイクルサポーター数 6団体 /年 』

【D】（実行内容）

- 新型コロナウイルス感染症の影響で今年度計画をしていたイベント等はすべて中止になっている。
- サイクルサポーター養成のきっかけづくりも新型コロナウイルス感染症の影響で開催できない。

【C】（チェック/確認）

- 数値目標である「サイクルイベント参加者数」の実績は開催できた2イベント:48人となっている。
- サイクルサポーターは以前までの取り組みから6団体。

【A】（アクション /改善）

- 来年度はポタリングや健康サイクリング等の小規模イベントから実施する。
- サイクルサポーターは「サポーター制度」を利用し、実施主体と協議を重ね、小規模イベントの開催に繋げていく。

○ 令和2年度の実績についての意見等

【主な意見】

- ◇ サイクルツーリズムの推進: イベント・大会の開催(シクロクロスカップ)について
 - シクロクロスカップを3月中旬に行いたい。香南市や地域の方に協力してもらいたい。
 - ▶ コロナ禍でのイベント開催、できる限りの協力をしていきたい。

○ 令和3年度の実績についての意見等

【主な意見・提案】

- ◇ サイクルツーリズムの推進 : (新規) 道の駅やす 観光サイクリング事業に対して
 - 駅前の駐車スペースはレクチャースペースにしてはどうか。
 - ▶ レクチャースペースは高架下が広いので、そこで乗る練習を想定している。

- レンタル用自転車は、電動アシスト付き自転車も検討しているか？
 - マウンテンバイク等のスポーツタイプの e-bike ではなく、普段から乗りなれている「かご付き自転車」やファミリー層が利用しやすい「ベビーシート付き自転車」を検討している。

- レンタサイクル運営以外にガイドツアー等のソフト事業も一緒に考えてほしい。
 しまなみ海道のレンタサイクルは1時間以内の利用が多い。四国カルストでは 30 分だけの利用が多い。短い時間で回転率を上げる検討もしてみてもどうか？
 - NPO 法人高知 CyclingProject Maze-Cle が『自転車×〇〇の体験イベント』を行う等、道の駅やす出発のガイドツアー等も提案していく。

- 受付は総合窓口を集約していたほうが良い。
 - 県外から来た方は、どこに何があるか把握するために総合窓口に行くので、そこでレンタサイクル受付ができると分かりやすい。

◇ サイクルツーリズムの推進：コロナ禍でのイベント開催について

- ✧ 参加者を県内に限る等、感染対策を実施し開催している。
- ✧ 地域内で限定的であれば開催できるのではないかな？
- ✧ 密になるスタッフへの対応も必要。
- ✧ イベントが中止になった場合、返金ではなく「特産品を贈る」という方法は良い。
 - イベントや事業も中止になっている中、地域内・小規模開催等できることから行きたい。

◇ サイクルツーリズムの推進：イベントへの市民参加について

- ✧ 「香南市といえば自転車に力を入れている」と認識してもらいたい。
- ✧ 地元での取り組みには市民が多く参加している。ぜひ協力して実施したい。
 - 健康サイクリング等市民向けのイベントを今後も開催し市民の認識を高めていきたい。

令和2年度 第2回 香南市産業振興計画 住宅部会 報告書
 (令和2年度の取組に対する評価と今後の取組の方向性)

◇ 部会委員 ◎ 部会長 ○ 副部会長

	氏名	所属	出欠		氏名	所属	出欠
1	◎松本 展明	建設課	出	1	田内 修二	香南市 副市長	出
2	野島 浩一	建設課長	出	2	岡林 栄一	商工観光課長	出
3	岡崎 進	防災対策課長	出	3	萩野 大輔	商工観光課	出
4	近森 康世	防災対策課	出	4	小林 辰徳	商工観光課	出
5	村山 敦	住宅管財課長	出	5	小松 大洋	農林水産課	出
6	岡崎 伊知郎	住宅管財課	出	2	澤田 卓	農林水産課	出
7	岩田 由子	地域支援課長	出	3			
8	小川 哲弘	地域支援課	欠	4			
5	田渕 忍	企画財政課	出	5			

☆ 当日の流れ

1. 開 会

2. 議事進行

- ① 令和2年度 香南市産業振興計画の取り組み状況について
- ② 令和3年度に向けた取り組みについて
- ③ その他

3. 閉 会

○令和2年度の取り組み状況についての意見等

◆ 住環境の整備

- 住宅リフォーム推進事業は、人気の高い取組となっており、補助金を含む総事業費は10,234万円が見込まれており、市内経済の発展に寄与している。
- 市営住宅では、目標値である20戸を超える22戸の合併浄化槽設置工事契約を締結している。
- 宅地造成事業では、事業規模を想定するための概略検討を行う必要があることから資料作成に着手。

◆ 住環境の整備耐震化事業

- 耐震化事業については、第1期計画期間において一定事業が進んだ影響もあり、申請は減少傾向にある。

◆ 空き家対策事業

- 空き家バンク事業については、新規登録件数増加のために、移住相談員による空き家調査を実施し、活用できる空き家の掘り起こしに取り組んでいる。
また、オンライン相談窓口を開設し、空き家バンク等の移住相談への対応をしている。
- 空き家改修事業については、相談窓口での制度説明等により申請件数の増加を図っている。

○令和3年度の取組についての意見等

◇ 住環境の整備

- 継続的な取り組みに加え、新規就業者を対象とした空き家の整備方法や移住希望者がどのような立地条件の家屋を求めているのかについて協議。
 - 各産業に従事する方の形態により、要望も様々になることが見込まれる。
各部会において発意し、意見等を集積し、共有をしていく。
- 移住地の確保や市街地との人口格差解消のため、新たな宅地の候補地の選定及び整備に取り組み、安定した移住等の促進を図る。

◇ 住環境の整備耐震化事業

- 引き続き、耐震の重要性に向けた周知を図り、「香南市耐震改修促進計画」に沿った達成を目指し取り組んでいく。

◇ 空き家対策事業

- 今後も制度の周知を継続し、まちづくり協議会など地域との連携による活用可能な空き家の掘り起こしや改修事業の推進に取り組んでいく。